



令和3年 5月刊行

このこのだより

このこのリーフ滝野川第2

31号

Happy Mother's day



今年の母の日はステンドグラスにチャレンジしました。お花の部分優しくそーっと塗り、出来上がった作品をみて笑顔があふれていました。ぜひお部屋に飾っていただければと思います。

5月5日の子どもの日の工作はステンシルでこいのぼりハットを作りました-☆



ゴールデンウィーク到来

新しい先生やお友達と出会い1か月が経ちました。学校に慣れた頃にゴールデンウィークがやってきて連休が続いてしまうと、せっかくできた生活リズムがなくなってしまうのは心配ですね。このこのは、祝日営業をしておりますので是非ご利用ください。5月3日から5月5日はこのこのでお弁当を用意します。

どうしたらこんなことが出来るのかなあ

待ちに待ったMr.トモック、今回はたくさんのお友達に見ていただきたいとの事で水曜日の他に、今回は特別に火曜日も来てくれました。初めましてのお友達もたくさんいて、近くで見るリアルマジックにビックリ仰天\(\circ\o\)/!

「すっげー」、「なんでー」、「僕もやりたい」と目をキラキラ輝かせていました。



としまキッズパーク大好きい〜

としまキッズパークは予約制の公園です。体温測定、アルコール消毒をしてから遊ぶことができます。年齢は小学校低学年位までのお子様を対象ですが、団体で申し込む事ができました。初めて行くお友達が多く、元気に遊んでくれました。SLが走っていて、楽しく乗ることができました。



これ、だれのですか？



持ち物に記名がないと誰のかわからなくなってしまう場合がありますので、すべての持ち物に記名をお願い致します。カバン、水筒、食具、エプロン、服、帽子、靴、小物等です。特に靴下はすぐに脱いで投げってしまう児童が多くわからなくなっていることが多いです。紛失予防のためにもご協力お願いします。

なまえをかきましよう!



スタッフおすすめの一冊「自閉症の僕が跳びはねる理由」

今回はこのこのスタッフが保護者様向けの本をご紹介します。

★(東田直樹著「自閉症の僕が跳びはねる理由」より)★

僕らがもし普通になれるとしたら、どうするでしょうか。きっと親や先生や周りの人たちは大喜びで「普通に戻してもらいたい」と言うでしょう。もし、自閉症が治る薬が開発されたとしても、僕はこのままの自分を選ぶかもしれません。障害のあるなしにかかわらず、人は努力の結果幸せになれることがわかったからです。僕たちは自閉症でいることが普通なので、普通がどんなものかわかっていません。自分を好きになれるのなら、普通でも自閉症でもどちらでもいいのです。



次ページから活動の様子を載せています